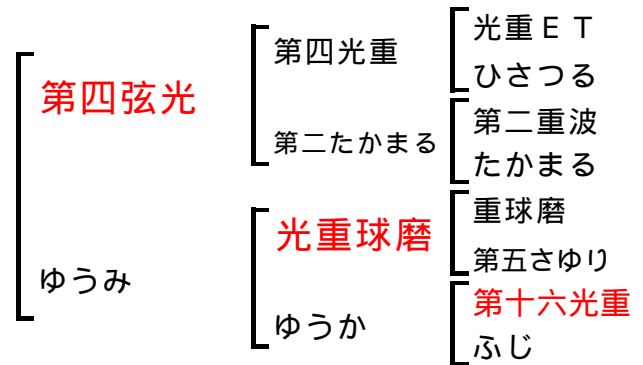


熊本県で開発した新技術

熊本県農業研究センター

2017

つるたま 褐毛和種種雄牛「弦球」の選抜



問 研究のねらいは？

答 熊本県で昔から多く飼われている褐毛和種について、その牛肉の生産性・品質向上を図るため、優秀な種雄牛を選抜しました。

問 本牛の特徴は？

答 ばらの厚さ・脂肪交雜の成績が歴代ナンバーワン！
枝肉重量・ロース芯面積も極めて優れた成績を持つ質量兼備の種雄牛であり、「第四弦光」の後継牛として高い能力が期待されます。

【現場後代検定成績】

(単位: kg, cm², cm)

頭数	出荷月齢	枝肉重量	ロース芯面積	バラ厚	皮下脂肪厚	歩留基準値	BMSNo.	肉質等級(3・4・5等級率)
去勢 12 頭	25.1	509.4	55.7	8.5	2.9	73.4	4.5	58.3% (7 / 12)
雌 6 頭	25.2	474.0	54.0	8.7	3.4	73.3	4.0	66.7% (4 / 6)

【産子の枝肉】



性別	去勢
枝重	563kg
ロース	77cm ²
バラ厚	9.3cm
BMSNo.	11
等級	A-5

形質	程度	-1	0	1	2	3	程度	SBV
枝肉重量	小さい						大きい	1.89
ロース芯面積	小さい						大きい	1.99
バラの厚さ	小さい						大きい	3.03
皮下脂肪	厚い						薄い	1.05
脂肪交雜	少ない						多い	2.67

標準化育種価 (SBV) とは？

育種価(遺伝的能力)を明確化した数値
1を超えるとその特徴を持つといえる